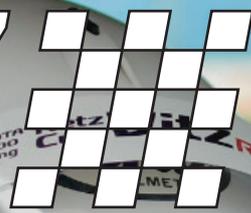


NETZ TOYAMA



Racing

Race Report 2020 / Vol.2

| | |
|-------|---|
| 大会名称 | TOYOTA GAZOO Racing Netz Cup Vitz Race 関西シリーズ Rd.4 |
| 開催日程 | 2020.10.17 |
| 場 所 | 岡山国際サーキット |
| 参加車両 | # 123 NETZ TOYAMA Racing VITZ |
| ドライバー | 山口 竜也 |
| 参加台数 | 42台 |
| 予選順位 | 7位 |
| 決勝順位 | 12位 |

先月のラリーチャレンジ参戦に続き、スプリントレース部隊の2020年シーズン初戦が岡山国際サーキットで開催された。チームにとっては初戦だが、VITZ 関西シリーズでは最終戦で上位陣のシリーズ優勝の掛けた熱い戦いが繰り広げられた。VITZ レースとしては本年が最後のシーズンとなり、来期以降は新型車ヤリスを使った新しい時代の幕開けとなる。ドライバーは、ラリーチャレンジでコ・ドライバーを務めた山口竜也。昨年スプリントデビューをしたネッツ富山砺波店の現役エンジニアで、岡山国際サーキットは今大会で初めて走行することになる。木曜日に現地入りし、サーキットライセンスを取得した初走行では難攻不落なテクニカルサーキットの洗礼を浴びタイムの伸び悩みに苦しむ。しかし、金曜日の占有走行でコース特性を掴むことができ劇的にタイムアップを果たし13位を記録する。占有走行13位ということだけでも過去最高で予選に向けてチームの期待が高まる形となった。土曜日は予選と決勝レースが1日で開催された。天候は雨。雨が降るとスピンするリスクが高く、ドライバーにはかなりプレッシャーが掛かる状況だがコースオープンと同時にコースインした山口竜也は、3周目に自己ベストラップをマークし7位で予選を終える。チーム発足最高位の予選順位にチームは喜びを分かち合い、決勝でのポイント獲得に期待を寄せる。午後から行われた決勝レースでは雨は止んだが路面はセミウェット状態。スタートより徐々に路面が乾きドライに近い状況で、後続車両に猛プッシュを受け8位までポジションを落とす。しかし、ラスト3周を残し上位陣2台がクラッシュし6位に浮上しそのままチェッカーを受けるはずだったが、まさかの単独スピンをしまい12位でチェッカーを受けた。とても悔いの残る結果となったが、経験の浅い山口にとっては次回へ繋がる経験でした。

